

令和4年度（2022年度）「OPEN！みんなで話そう！やまさき市長とともに」における市民からの声（提案・意見等）への対応状況

| | | | | | | | 令和5年10月末時点 | | |
|-------------------|--------|--------------|-------|-----|---|--|---------------------|--|--|
| 年度 | 日時 | テーマ | 担当課 | No. | 市民からの声 (意見・提案等) | 当時の回答内容 (課題、問題点、今後の方針) | 対応状況 (プルダウンより選択) | これまでの取組内容 | 今後の方針等 |
| 令和4年度 (2022年度) | 10月29日 | 部活動の地域移行について | 学校教育課 | 1 | (部活動が)「教育課程から外れる」という話があった。地域移行した場合、学校の部活動は、宝塚市が子どもを育てる環境では無くなるが、子ども達の育つ場として、地域の指導者もしくは地域の団体に、部活動の教育的意義をどこまで求めるのか、現時点のイメージを聞きたい。求める場合、それだけの質が必要になる。人を探すのも大変。お金の話も絡んでくる。地域移行については、切り口を変えるといくらでも課題が出てきて、山積みだと思う。 | 部活動で培うものは、子どもにとって大きい。仲間との心の通い合い、協調、耐え抜く力など、子ども達を育むという意味では大切なので、今後も提供していきたい。また本市では、地域移行した場合の指導者に対する「育成指標」を作っている。これだけ詳細な育成指標は全国で初めて。この指標を心に留めて指導していただくため、まずは登録制にし、指標に納得された方に子ども達を育成してもらおう。 | 済 | 令和4年度中に各中学校を訪問し、育成指標に関する研修を実施した。宝塚市部活動地域移行協議会の場で指導者確保の課題について協議した。 | 今後も宝塚市部活動地域移行検討協議会において指導者確保の課題について議論していく。 |
| | | | | 2 | 部活動が学校教育では無くなった場合、予算はどうなるのか。ある程度の受益者負担は分かるが、市や国で予算取りをして、子ども達のやりたいスポーツや文化が出来るようなシステムを整えてもらいたい。 | 予算に関しては、国から詳細な決まりが出ていない。内容が固まれば、協議会などを通じてお知らせした上で、地域移行を進めていきたい。 | 済 | 令和5年度の国の予算は想定から大幅に減少した。宝塚市においては、市独自の予算でスポーツ保険費用などを確保した。 | 令和6年度も令和5年度の予算をベースに要求し、国が実施する実証事業への参加を検討している。 |
| | | | | 3 | 指導者が見つからない場合、他校に行くのは難しいと思う。宙ぶらりんな生徒が出ないようにする救済措置はあるのか。 | 子ども達のニーズや、学校の先生達の実際の状況を把握し、段階的に進めていく中で、そういったことが無いように検討していく。 | 済 | 宝塚市部活動地域移行検討協議会の場で指導者確保の課題について協議した。 | 今後も宝塚市部活動地域移行検討協議会において生徒の活動参加の形の課題について議論していく。 |
| | | | | 4 | 場所を学校外にすることは、無料で使える学校内の施設があるのに、有料で学校外の施設を借りるということ。移動時間や交通費も発生する。そういう費用を抑えるためにも、極力学校ですべきだと思う。 | 子ども達の中で、希望する部活動が進学先の学校に無いことがあるかもしれない。色々なスポーツや文化を子ども達に提供出来るよう、整えていきたい。例えば小規模校では、団体競技は部員が少なければ難しいので、人数が集まるような良い方法を考えなければいけないと思っている。 | 済 | 宝塚市部活動地域移行検討協議会の場で活動場所確保の課題について協議した。 | 今後も宝塚市部活動地域移行検討協議会において合同部活動も視野に生徒の活動場所の課題について議論していく。 |
| | | | | 5 | 平日も土日も指導出来るなら問題無いが、平日は学校の先生、土日は外部の指導者が教えるとなると、先生と指導者のズレが出てきて、部活動を辞める子どもが増えないか、勝利至上主義にならないか懸念している。 | 勝利至上主義だと、子ども達に無理を強いたり、度が過ぎた指導になることもあり得る。そうならないよう、育成指標を基に指導者の資質を問いたい。また、先生と指導者の指導が違ふことは確かにあると思う。外部指導者は専門的だが、学校では未経験の先生が指導することもある。その差はあるが、地域移行後も、学校と指導者の間で密に情報交換と意思の疎通を図りながら、気を付けていきたい。 | 済 | 令和4年度中に各中学校を訪問し、育成指標に関する研修を実施する中で、教員と地域指導者の間に、指導に関する認識の差が生じないよう取り組むことを説明している。宝塚市部活動地域移行検討協議会においても協議した。 | 今後も宝塚市部活動地域移行検討協議会において生徒が指導で混乱することがないように指導者の指導の課題について議論していく。 |
| | | | | 6 | クラブチームの中でも、すごく強いチームもあれば、とりえず体を動かそうといったチームもある。ただ単にクラブチームがあれば良いわけではなくて、その子達が何のためにクラブをしているか、丁寧に見ていかないと運営は難しいと思う。 | | 済 | 宝塚市部活動地域移行検討協議会の場で、部活動ガイドラインの趣旨に沿った形で活動を実施していくことを確認している。 | 今後も宝塚市部活動地域移行検討協議会において指導の在り方と部活動ガイドラインの遵守について議論していく。 |
| | | | | 7 | 多様というのは運動のパラエティだけではない。特別支援学級の子も達が放課後に行く場所は、デイサービスしかない。他の子はクラブ活動という居場所があるが、同じ生徒でも放課後の居場所がない。クラブをやりたいくても、やるところが無い。そういった、今まで見ていないところも、丁寧に見てもらいたいと思う。 | 一番は、どのように子どもたちが楽しく育まれていくかということだと思っている。(頂いたご意見は)審議会で反映していきたい。 | 済 | 宝塚市部活動地域移行検討協議会の場で、特別支援学級所属の生徒に対する支援の在り方について検討した。 | 今後も宝塚市部活動地域移行検討協議会において特別支援学級在籍の生徒や支援が必要な生徒の対応について議論していく。 |
| | | | | 8 | 大事なものは、時間のある方ではなく、働いている世代や時間が無い世代へのアプローチ。自分たちの子育てを学校に任せるとはなくて、地域で育むためには自分たちの時間も削る覚悟が必要。強制は出来ないが、その世代に対する土壌の醸成をもっと啓発すべきだと思う。 | コミスクにはPTAも入っており、意見を頂いている。高齢の方が担い手になっているのは、宝塚市だけではなく、色々な地域の問題。コミスクを通じて、後継者になられる方との関係性を築きたいと思っているが、強制はしたくないので、協力出来る範囲でやっていただきたいと思う。 | 済 | 宝塚市部活動地域移行検討協議会の場で、保護者の関わり方や負担等について宝塚市PTA協議会との方と意見交流・協議を行った。 | 今後も宝塚市部活動地域移行検討協議会において保護者の関わりについて議論していく。 |
| | | | | 9 | 小学校6年生が進路を決める時期で、出来れば地域で続けてもらいたいが、入っても土日の部活がどうなるか分からないため、親も子ども不安に思っている。この3年間、大人からすると移行期は仕方ないと思うが、子ども達にとっては一度しかない貴重な時期なので、大切にしたいと思っている。 | 様々なニーズに対して、どのように対応していくかが、私たちのこれからの課題だと思う。逐一子ども達の思いを聞きながら形作っていきたい。 | 済 | 宝塚市部活動地域移行検討協議会の場で、保護者の思いや子どもたちの思いを地域移行に反映させるため、今後、アンケートを実施することを確認した。 | 今年度中に保護者・生徒を対象にしたアンケートを実施する予定。 |
| | | | | 10 | 地域に移行すると、受け皿が整っている場合もあれば、色々な事情で参加出来ない子どもも出てくると思う。そういった子ども達のフォローも、学校で出来れば一番良いと思う。行政としてそういう関わりを持っていただきたい。 | 移行だけではなく、地域に移行できない、参加できない子ども達の意見も聞いていきたい。 | 済 | 宝塚市部活動地域移行検討協議会の場で、保護者の思いや子どもたちの思いを地域移行に反映させるため、今後、アンケートを実施することを確認した。 | 今年度中に保護者・生徒を対象にしたアンケートを実施する予定。 |
| | | | | 11 | 今の安全基準が高過ぎると感じる。もっと緩和しても良いのでは。昔は生徒だけでやっている場面もあった。グラウンドや体育館に最低1人大人がいれば活動して良いなど、それぐらい緩和すれば、教員の負担も減るのではと思っている。 | 緩和は必要だが、見ている大人がゼロというのも問題。目が届く範囲内であれば活動出来るなど、子ども達に安全な形で、柔軟に考えていきたい。 | 済 | 宝塚市部活動地域移行検討協議会の場で、子どもへの安全配慮と部活動ガイドラインに沿った活動を行っていくことを協議した。 | 今後も宝塚市部活動地域移行検討協議会において、引き続き子どもたちが安全安心に活動に参加するにはどうすればよいか議論していく。 |